

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業		担当	健康福祉部 こども家庭課 子育て支援係	
政策名	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ!～	施策名	1	子育て支援の充実
成果指標	名称		単位	6 年度実績	
	登録乳幼児・児童数		人	353	
	支援を受けた児童の実人数		人	23	
	支援を受けた児童の延人数		人	332	
事業概要	『子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員）』と『子育てのお手伝いをしたい人（提供会員）』が会員となり、市民同士でお互いに助け合う育児の相互援助を行う組織の運営 [援助できる内容] ・保育園・幼稚園への送迎や、園の開始前・終了後の子どもの預かり ・学校の放課後、学童保育終了後の子どもの預かり ・保護者が病院・学校行事・冠婚葬祭・買物等に出かけるときの子どもの預かり [実施主体] 市（真岡市ファミリー・サポート・センター）サービス利用仲介調整、保険加入、提供会員研修・交流会開催 国1/3・県1/3補助 ・[利用料金]1時間当たり700円（平日の午前7時～午後7時以外800円）（1時間以後の30分未満、2人目以降は半額） [利用料金の一部補助]利用料1時間当たり200円（半額の場合は100円）				
6 年度 実績・成果・課題	新型コロナウイルス感染症の影響でサービスの利用が減少傾向にあったが、令和6年度は依頼件数も大幅に増加し、保護者の子育て負担が軽減が図られた。（活動件数：令和5年度78件、令和6年度332件） ・ホームページ、いちごチャンネル、市公式LINE・X、FMもおか、WeeklyNewsもおか等、各種メディアで市民へ制度の周知 ・家庭教育学級、オビニオンリーダー、オレンジサポーター、社会福祉協議会、食生活改善推進研修会等、各種団体への働きかけの実施 ・提供会員、依頼会員のインタビュー記事を掲載したパンフレット・ホームページの作成 ・子育て支援研修の機会の確保 ・複合交流拠点施設の開設に合わせて令和7年4月からファミリーサポートセンター事業が移管となるため、事業者へ業務の引き継ぎ ・ファミリーサポートセンター事業実施要綱・会則の変更 【課題】制度の周知不足及び提供会員の確保が必要である。				
今後の方向性と 具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☒ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☒ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 令和7年度から事業を指定管理者に移転した。 事業者との連携体制を構築し、サポート体制の充実と利用促進を図る。 ・真岡市複合交流拠点施設monacaでの預かり事業実施 ・アドバイザーによる会員同士の事前打ち合わせマッチング業務 ・事業に関する説明会・相談会の実施 ・栃木県子育て支援研修会の活用				